

平成22年4月

# 地域を活性化する農商工連携のポイント

～農商工連携ベストプラクティス30を参考に～



農商工連携の取組による効果

【生産者の所得・モチベーション向上】

- 流通の中間マージンを省くことにより水産事業者の収益を増加

【地域課題の解決】

- 市場を通さずスピーディーに取引することで、離島・遠隔地の水産資源を有効活用

売上:2年間で2億5,000万円

→5億5,100万円へ

(注)リアルタイム水産物相対取引システム(SCSS)での売上げである。



取組の現状

【取組の概要】

- 日本の食と漁業を守る事を主眼に、水産流通システム SCOUT の開発・運営を実施。SCOUT はリアルタイム相対取引(SCSS)と予約相対取引(SCORE)から成り立っており、産地漁業者の収益改善と産地格差の是正を図り、我が国の漁業を再生させることを目的としている。

【連携構築】

- 離島・遠隔地の水産事業者、取引システムの提供事業者、消費需要者の3者が連携して市場外流通水産物の販売体制を構築し、相互の利益確保を図る。さらに、水産物の販売、流通において、農水産物標準化コードに準拠したトレーサビリティを確保するとともに、マーケティングデータの集積を行い、食の安全・安心や水産資源の効率的活用にも寄与する連携体構築を目指している。

【販路開拓】

- 今後は国内のみならず、アジア含めた取引エリアの拡大を図り JAPAN MARINE PRODUCTS の評価を高めていく。

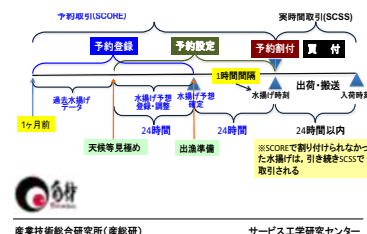
取組の経緯(成功へのキー)

ここがポイント

連携構築

水産事業者と需要者とを結ぶ直接取引の場を提供

- SCOUT の特徴は全国産地の実時間水揚げ情報に基づいて、複数産地での需要と供給のミスマッチを逐次融通することで解消し水産物の安定的な産地取引を実現。同時にスピーディーで低コストの輸送体制を実現することにより、生産者や消費需要者にコスト面で貢献するとともに高鮮度水産物を提供。また、国の決めた水産物標準化コードに準拠した流通データを蓄積、公開する事によりトレーサビリティの明確な安全・安心な水産物を提供。当該 SCOUT 事業は農商工等連携事業計画に認定。
- 連携の基盤になっている SCORE は(独)産総研の技術支援を受けて開発した画期的な多対多の予約相対取引システムでありセラー(漁業者・漁協)とバイヤー(量販・外食・消費地仲買)の需給マッチングをリアルタイムに調整する事により、バイヤーは機動的で安定した仕入れが、セラーは効率的な操業と収益拡大が可能。SCSS は、規格外品の水揚げ情報をリアルタイムでバイヤーに告知することで確実にタイムリーな1対1の相対取引を実現。



産業技術総合研究所(産総研)

サービス工学研究センター

## ここがポイント

## 販路開拓

## 取引の範囲をアジアへ拡大

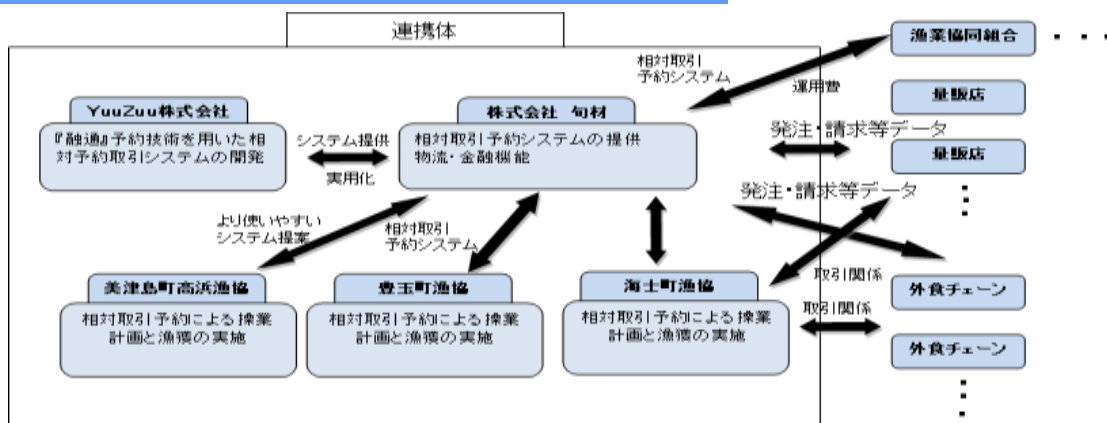
- SCOUT (Syunzai Coupled Trading System) はリアルタイム水産物流通システム SCSS (Syunzai Circulation System Service) と水産物予約流通システム SCORE (Syunzai Collective Reservation System) から構成されている。運用に関する考え方は、現状は既存の SCSS を中心に1対1の相対取引を推進するも、SCORE と並行稼働させるものではない。将来的には SCORE を基本システムとし多対多の取引形態を持続させながら取引ごとにマッチングからはみ出す水産物を SCSS で1対1で相対取引させることで運用する予定。

運用を既に開始している SCSS の会員セラー(漁業者・漁港)は全国で 60 拠点近くになり本年度中に目標の 100 拠点を達成する見込み。それに対し SCORE の運用は農商工連携参画 3 漁協(美津島町高浜漁協・豊浜町漁協・海士町漁協)を中心に 4 月度より実証実験を開始。当該 3 漁協で問題無く稼働できるようになれば SCSS の会員セラーも運用拡大を順次進める予定。

- 販路拡大に関してはバイヤー企業も大手量販・大手外食・消費地仲買等の参画が順調に拡大しており、魚種別・漁撈別・産地別販路拡大が見込まれることから相対取引量は拡大すると考えられる。現状では登録バイヤー店舗数は600を超えており、SCORE 運用が始まるまでに1,000店舗の量販・外食企業の参画が目標。

同時に日本の水産物を求める海外バイヤーからの引き合いも多数あり、中国市場を見据えた香港、タイ、シンガポール、マレーシア等への輸出拡大の要請に応えたいと考えている。特にバンコクからは現地資本の大手百貨店・日系量販店・日本レストラン等々からの直接、多量買付販売等の具体的な話があり、システム導入と現地への出店サービスが期待。

## 連携体制図



## 中核団体の概要

団体名	株式会社旬材
代表者名	代表取締役 西川益通
連絡先(電話番号)	06-6386-9992
ホームページ URL	<a href="http://www.syunzai.com/">http://www.syunzai.com/</a>
事業内容	放送法・電気通信事業法に基づく水産流通事業



## 今後、農商工連携に取り組む地域へメッセージ

日本の漁業の再生のために新しく考案された新水産物流通システム SCOUT は産地と消費地の情報交換が主体となっており、双方向の確実な情報伝達が鍵になっております。農商工連携に取り組む生産者及び商工業者の皆様は如何に情報伝達処理をしていくかが最大の課題です。産地と消費地のニーズを充足し、事業の発展を求めて行くかが鍵になります。